

## 【シラバスⅡ】令和8年度 評価規準

教科名 理科		科目名 化学基礎（文系）		
時期・単元	内容のまとめ	知識・技能	思考・判断・表現等	主体的に学習に取り組む態度
(7月) 3章 酸と塩基	3章 2節 酸と塩基	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸・塩基の定義を理解し、日常生活と関連付けて酸・塩基反応を捉えることができ、さらに中和滴定の量的関係を理解している。</li> <li>pH の指標の便利さと実用性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>酸塩基の強弱と pH の観察、実験などを通し、科学的に考察できる。</li> <li>考察して導き出した考えを的確に表現できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な物質の pH を測定して考察するなど、身近な現象と酸塩基反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。</li> </ul>
(12月) 3章 酸化還元反応	3章3節 酸化還元反応の 起こりやすさ 4節 身の回りの 酸化還元反応	<ul style="list-style-type: none"> <li>電子の授受や酸化数の変化から酸化還元反応を理解している。</li> <li>金属のイオン化傾向とそれによる反応性の違いを理解し、実用電池など身近に酸化還元反応が利用されていることを知っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>実用電池や金属の製錬を論理的に考察し、科学的に判断できる。</li> <li>様々な観察、実験を通し、酸化・還元反応の定義と酸化数の定義の有効性を理解し、共通性を見出し、酸化還元反応を論理的に考察できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>金属の溶解、実用電池の利用に興味をもち、共通性を意欲的に探究する。</li> <li>身近な現象と酸化還元反応を関連付けて意欲的に探究しようとする。</li> </ul>
(3月) 1～3章	1章 物質の構成 ～ 3章 物質の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>物質の構成粒子や量的関係、酸・塩基や酸化還元反応に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学的な事物・現象に問題を見出し、研究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>化学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身につけている。</li> </ul>
主な評価方法		定期考査、提出物など	定期考査、提出物など	定期考査、出席状況など
その他				